

可変データ処理が簡単に行える国産の次世代バリエブル印刷ソリューション

バリエブル印刷ソフトウェア 「VP Authoring Studio II」

テキスト・アンド・グラフィクス株式会社

バリエブル印刷における現場の課題

大量印刷から少量・多品種志向に市場のトレンドが移っている現在、多くの印刷会社が力を傾注しているのがデジタル印刷のテクノロジーである。デジタル印刷は生産性の向上や効率化を目的としたものだが、基本は「必要な時」に「必要な数」を印刷することである。さらに、市場が深化するに伴って、よりニーズにマッチしたテクノロジーが求められる。そのような中、デジタル印刷でも特にニーズが高いのが、可変データを基に個別向けに印刷を行うバリエブル印刷の分野である。バリエブル印刷は言うまでもなく、DM印刷業務や大量の公共案件の印刷業務、また、より深い顧客へのリーチを目指した One to One マーケティングのためなど、今やなくてはならないテクノロジーとなっている。しかしながら、その制作

にあつては、限られた時間やコストなどの制約の下、現場の負荷が大変高い分野ともなっているのが実状である。

例えば1つ例に挙げると、日本年金機構が発行する、年金加入者に向けた様々な帳票の印刷に見られるような、大変キメ細かい可変データを色々な条件の下に処理し、個別に印刷しなければならないような案件である。このようなデータ処理は元来情報システムの分野であり、印刷会社自身が必ずしも得意としている分野ではない。ところが、案件受注のためには、これらの処理が必須であるため何とか対応せざるを得ない。そのため、既存のツールなどを使って現場が苦勞しながら対応するか、もしくは、その部分を他社に委託してしまうか（情報セキュリティの問題、利益率が下がる等の弊害あり）、いずれも厳しい状況が発生



図1 機能概要

する。そのため、そのようなキメ細かなデータ処理が伴う案件は、印刷会社からするとハードルが高い案件となってしまうのが現状である。本来、可変データの処理はなるべく簡単かつスピーディーに行い、印刷会社のコアである印刷業務の品質向上に力を集中し、競合との差別化につなげることが必要だと考えられる。

バリエブル印刷がいままでよりもっと手軽に実現でき、幅広い印刷業務の分野に対応できるようなソフトウェアがあれば、さらなるビジネス機会の拡大も期待できる。

データ処理に強い国産バリエブル印刷ソフト「VP Authoring Studio II」

そこで、バリエブル印刷を巡る現状を踏まえ、複雑なデータ処理が必要なバリエブル印刷での現場の負荷を少しでも軽減し、業務を効率化させ、今までハードルの高かった案件でも積極的に受注できることを目指し、現場の声を一つひとつお聞きしながら、より使いやすく、ベネフィットに結び付くための機能を最優先して開発を行ったのが、今回ご紹介する VP Authoring Studio II であ

る。

VP Authoring Studio II は、様々な外部ソースからの可変データの読み込みと編集、PDF や画像などで作成されている版下への可変データの差し込み、レイアウト編集から高速の PDF 生成まで一貫して行えるソフトウェアである。特に、従来の製品では困難だった、複雑な可変データの読み込み、条件判断、複雑なページング処理などを現場サイドでも簡単に行えるよう工夫されており、元の版下の品質を劣化させることなく高品位にオーバーレイ印刷が可能なのが、従来の製品にはない大きな特長となっている。

VP Authoring Studio II の主な機能

1. 高品位かつ高精度のバリエブル機能

PDF や画像などの版下の品質を劣化させることなく、可変データを差し込んだ PDF を生成することができ、簡単な操作でバリエブル印刷を行うことが可能。

2. 様々なソースから可変データの取り込みが可能

外部の様々なソースから可変データを簡単に取り込むことが可能。RDB やホストコンピュータ

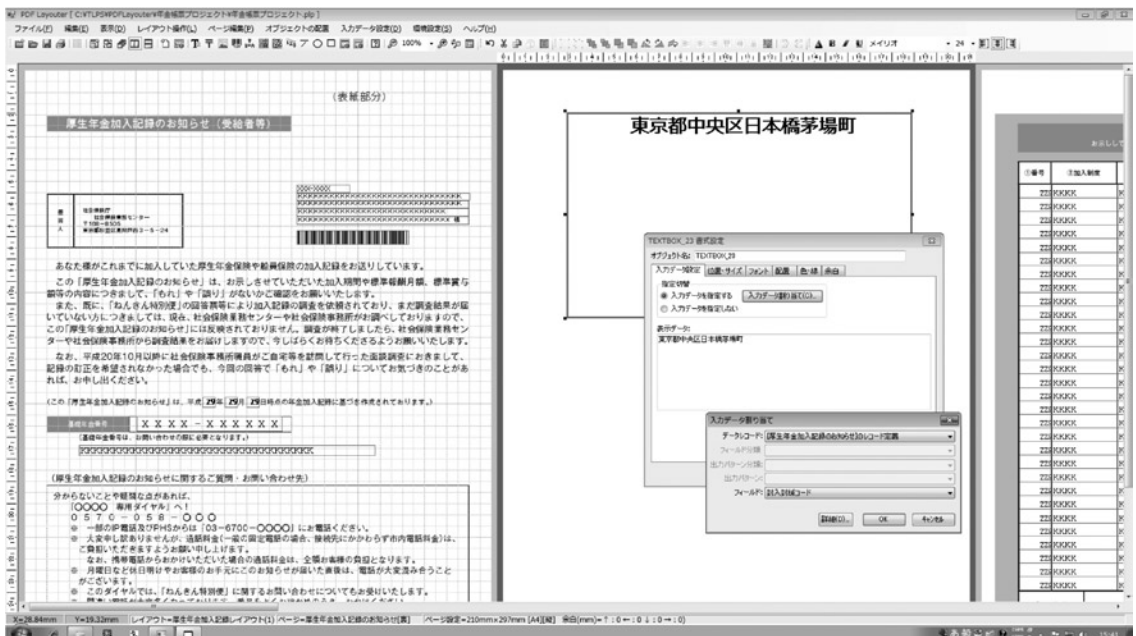


図2 レイアウト機能

のファイルも直接取り込むことができる。また、
 ホストコンピュータによる独自の漢字コード拡張、
 外字にも対応している。

3. 複雑な可変データも手軽に対応

取り込んだ可変データを簡単に変換・編集可能な機能を搭載。表形式データの編集を Excel ライクに操作することが可能。複雑なレコード形式や条件設定にも柔軟に対応可能。



図3 表形式データのレイアウト編集

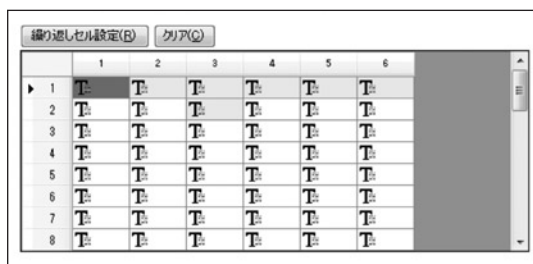


図4 表形式データの Excel ライクな編集画面

4. 商業印刷レベルのレイアウトや 各種バーコード印刷への対応

両面印刷はもちろん、複数レイアウトが混在するような複雑な印刷にも簡単に対応が可能。(マルチレイアウト・マルチページ機能) また国内で使用されているほとんどの種類のバーコードに対応。アウトラインで高精度に印字することが可能で、読み取りエラーなどのトラブルを軽減。

5. 深化する One to One マーケティングに 有効なイメージリアブル機能

可変データを変形した文字に加工した可変画像を作成可能。深化した One to One マーケティン

グを効果的に演出し、付加価値の高い DM など
 に威力を発揮。可変データをインパクトのある表
 現にすることで、新たなビジネス機会を創出
 (Adobe Photoshop が別途必要)。

6. 画像を劣化させずに高品位な原稿を実現する アウトライントレース機能

イラスト・ロゴなどの画像のアウトライン化を行
 うことが可能。解像度を意識しない高品位出力
 を実現。

7. 各種形式の出力に対応

出力形式は、プリンタや PDF だけではなく
 PPML にも対応。また XHTML や ePub (iPad などの
 電子書籍ファイル形式) の出力も可能。



図5 様々な印刷(出力)条件への対応



図6 様々な出力形式

8. 複数プリンタへの分割出力機能

プリンタの運用や工程に応じて、複数のプリン
 タに分割して出力することが可能。例えば、プリ

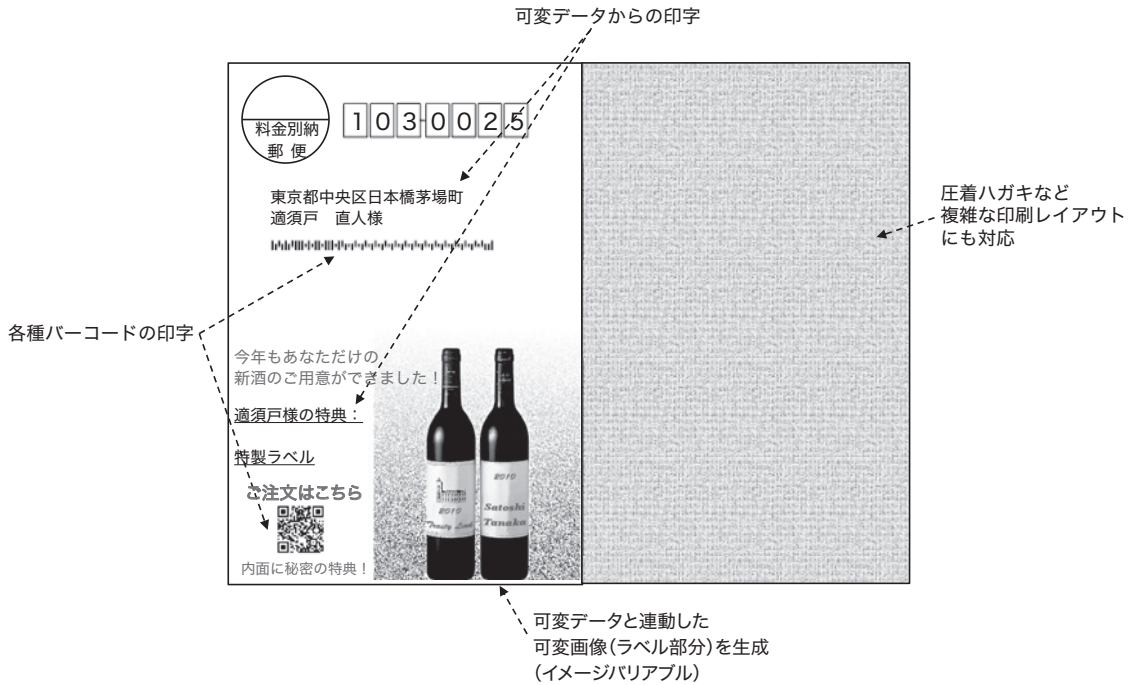


図7 活用シーン (DM)

ンタ A はページ 1 だけを、プリンタ B はページ 2 だけを印刷、というような柔軟な運用を行うことが可能。

9. 出力ファイルのファイル分割機能

表裏分割、偶数奇数分割、レイアウト単位、ページ単位などに出力ファイルを分割することが可能。これによって RIP 設定の単純化と処理の負分散化が可能となり、効率的な印刷を行うことが可能。

テキスト・アンド・グラフィクスでは、今後 VP Authoring Studio II を軸に、印刷会社や制作会社などへの販売を中心とした展開を予定。帳票案件だけではなく、One to One マーケティングでの活用も視野に入れながら、そのような案件適用が見込まれるお客様に積極的に展開を行っていく。

また、アプリケーションだけではなく、現場の声を機敏に反映し、公共案件の帳票印刷などで、現場でそのまま使用していただけるテンプレートも同時に提供していく予定で、現場の方々の負軽減に寄与したいと考えている。

製品情報

VP Authoring Studio II
(VP オーサリング スタジオ)

- VP Authoring Studio II Standard 版
- VP Authoring Studio II Professional 版
- VP Authoring Studio II Enterprise 版
- PDF オーバーライター
(PDF のみの簡易差込用途向けソフト)

対応 OS : Windows XP/Vista/7

最新の VP Authoring Studio II の情報は
<http://www.textandg.com/>
でご覧いただけます。

●お問い合わせ先

テキスト・アンド・グラフィクス株式会社

〒 103-0025

東京都中央区日本橋茅場町 3-12-4 白鷺ビル 2F

TEL 03-6661-0412

E-mail info@textandg.com

<http://www.textandg.com/>